



平成16年 10月22日

各 位

会社名 株式会社 セ ッ ク
代表者名 代表取締役社長 矢 野 恭 一
(コード番号: 3741)
問合せ先 取締役経理部長 秋 山 逸 志
(TEL. 03 - 5458 - 7727)

LBS ソリューションを「g-Contents WORLD 2004」に出展

株式会社セック(代表取締役社長:矢野恭一)は、2004年10月26日~2004年10月27日に大手町サンケイプラザにて開催される『g-Contents WORLD 2004』(注1)における事例展示会にて、LBS(注2)ソリューションの展示を行います。

当社LBSソリューションは、動体より収集した位置情報をリアルタイムに配信するロケーションプラットフォームです。

- (1) サーバで地図をレイアリングしたSVGデータの配信
- (2) goSVG(注3)ブラウザ対応のSVGデータの配信
- (3) Webサービスインターフェースを用いた位置情報の配信

の3方式での位置情報配信が可能となります。また、動体の位置の蓄積情報(動体軌跡情報)をSVGアニメーションで再現することも可能です。

動体情報の収集に関しては、

- (1) GPS携帯電話からの定期的なロケーション情報の発信(利用ユーザの操作なし)
- (2) GPS携帯電話からの能動的なロケーション情報の発信(利用ユーザが発信操作を実施)
- (3) 当社LBSソリューションサーバからGPS携帯電話への情報収集依頼による応答(利用ユーザの操作なし)

の3方式での位置情報取得が可能です。将来的には、GPS携帯電話以外の動体情報収集端末のご提供を計画しています。

当社LBSソリューションは、3つのコンセプト

- 手軽
- 最先端の標準化技術の採用
- 高い拡張性

を元に作成されたLBSソリューションです。

手軽に導入できるように、必要最小限の構成となっています。インフラにLinux、Javaなどを採用することにより、お客様のニーズに合わせたハードウェア構成でのシステム構築が可能です。

最先端の標準化技術の採用に加え、当社のリアルタイム技術の応用、Javaによる拡張性確保、SVG,G-XML,Webサービスといったユーザビリティを確保するためのW3C標準技術を多く採用しています。

高い拡張性を実現するために、ソフトウェア構成を、内部的に3つの機能構成で実装しました。各々の機能構成

は、個別のサーバ上で動作させることが可能で、性能向上が必要な部分のみハードウェアの性能増強で対応でき、必要最小限の投資で、LBS を実現いたします。

(注1)『g-Contents WORLD 2004』 <http://www.g-contents.jp/2004/index.html>

コンセプトは「g コンテンツの可能性と未来」。

ユビキタス、グローバリゼーションなどの、g コンテンツの未来像についての講演や、今注目を集めている技術であるRFID タグ + g コンテンツ、g コンテンツ + 観光立国、g コンテンツ + 地域活性などのテーマでのワークショップ等の開催が予定されています。

(注2) Location Based Service

位置情報サービス (LBS : Location Based Service) は、測位システム (GPS : Global Positioning System) と地理情報システム (GIS : geographic information system) の融合サービスで、リアルタイム位置情報に基づくサービスを示します。最近では、GPS を搭載する携帯電話を用いたサービスが活発になってきています。

(注3) G-XML over SVG

SVG に POI データの挿入などを目的に、G-XML (Geospatial eXtensible Markup Language : <http://gisclh.dpc.or.jp/gxml/contents/index.htm>) 拡張を施した仕様。

以上